

患者さんのことを考え  
最大限の技術を駆使

朝倉 なら子さん (57歳)  
水沢区南大鐘



研ぎ澄まされた集中力で加工や調整を行う



あさくら・ならこ◎昭和30年、金ヶ崎町永栄生まれ。津田歯科医院勤務。奥州市と金ヶ崎町の歯科技工士で構成する水沢歯科技工士の会の会長。母と2人暮らし

前沢駅通りにある津田歯科医院で歯科技工士として勤める朝倉なら子さん。同院の小さな作業室で、義歯や差し歯などの加工を手掛けている。「細かい作業に集中するには最適。とても落ち着く」と照れくさそうに笑う。

幼いころは体が弱く、親にも迷惑を掛けたというなら子さん。幼少時代から絵を描くことや工作、手芸などの細かい作業が得意だった。高校時代は器楽部に所属し、マンダリンの演奏に熱中した。

「人見知りで控えめな性格だった」と当時を振り返る。できるだけ人と接しない仕事に就きたいと考えた。担任の薦めで、東京都日野市の東邦歯科技工専門学校へ進学し、働きながら学ぶ道を選んだ。

昭和55年、歯科技工士の資格を取得。長女であるならさんは、その年に帰郷し、水沢の歯科医院に就職した。歯科技工士は裏方の仕事。歯科医師を影で支えている。「自分の作ったもので患者さんが喜んでくれる。それがとてもうれしい」。だからこそ、可能な限り患者さんの要望を受け入れている。

趣味は体を動かすこと。暇を見つけてはプールに通う。「年齢が増したら、ガーデニングを趣味にしたい」と将来の夢を語る。片や「この仕事が好き。大好きな歯科技工士をいつまでも続けたい」と仕事に情熱を傾けるなら子さん。本格的なガーデニングに取り組める日は、まだまだ先になりそうだ。

CONTENTS

- 2 情熱の奥州人
- 4 大切な人の命を守りたい
- 8 権利擁護について考えよう
- 10 地域農業マスタープランの制度説明会を開催
- 11 放牧自粛に伴う代替放牧や自家飼養に助成  
東日本大震災被災者の電気料金を減免
- 12 栄冠を手にした選手の横顔 —第59回県中学校総合体育大会—
- 14 奥州三大マラソンに参加しませんか
- 15 結 - ゆい- ~ 30の地区振興会による協働のまちづくり実践事例~
- 16 ILC 希望のひかり
- 18 市の出来事から
- 20 まちの話題
- 22 つながれ 広がれ NPOの輪
- 24 子そだて広場  
市長コラム「おうしゅう羅針盤」
- 25 地域安全情報  
わが家のアイドル  
子ども喜ぶ人気メニュー
- 26 キラリ人輝く  
夢トーク
- 27 クラブ紹介  
ぼんたのつぶやき
- 28 くらしの情報
- 32 奥州遺産

〈今月の表紙〉



水沢寺子屋こども体験交流事業が、7月30日から8月3日まで水沢区内各地の寺院を会場に開催されました。

この事業は、小学校の夏休みに合わせて毎年行われています。中高生がリーダーとなり、事業の内容を計画することで、子どもたちの自主性を促しているものです。

写真は水沢区黒石町の藤春院を会場に、座禅を行っている子どもたち。仏門を通じ、礼儀作法も学びます。